

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり報告数は6.25人と、3週続けて増加しています。

感染性胃腸炎は、例年12月が流行のピークとなる傾向にあり、注意が必要です。

この時期の感染性胃腸炎の集団発生例の多くはノロウイルスによるもので、感染予防には、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理などが重要です。(次頁参照)

2. インフルエンザ

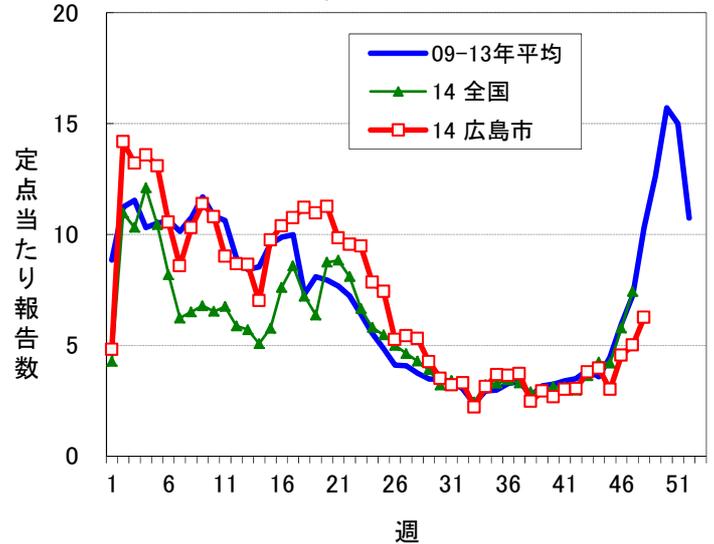
定点医療機関からの報告は24人(定点当たり0.65人、迅速診断キット:A型陽性21人、B型陽性3人)と、前週と同程度で推移しており、流行開始の目安である定点当たり1.0人に近づいています。

健康管理に十分注意し、手洗い・うがいの励行など感染予防を心がけましょう。

3. 手足口病

定点当たり報告数は1.54人と、3週続けて増加しており、例年同時期と比較して多い状態となっています。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	24	0.65	8.44	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	25	1.04	0.57	⇒
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.44	⇒		RSウイルス感染症	26	1.08	0.95	⇒
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	71	2.96	1.09	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	⇒
	感染性胃腸炎	150	6.25	10.31	⇒		流行性角結膜炎	7	0.88	0.63	⇒
	水痘	19	0.79	2.25	⇒		細菌性髄膜炎	-	-	-	⇒
	手足口病	37	1.54	0.20	⇒	基幹	無菌性髄膜炎	1	0.14	-	⇒
	伝染性紅斑	-	-	0.13	⇒		マイコプラズマ肺炎	-	-	0.17	⇒
	突発性発しん	9	0.38	0.53	⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	⇒
	百日咳	2	0.08	0.15	⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	⇒
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.03	⇒						

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	⇒		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	168	男性(40歳代)・1人、女性(60歳代)・1人、女性(80歳代)・2人
5	カルバペナム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	3	男性(70歳代)

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第44週 第45週 第46週 第47週 第48週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎
			11	3	77	95	14	21	-	15	1	3	31	32	1	8	-	-	1	-	-	
定点当たり	広島市	第44週	0.30	0.13	3.21	3.96	0.58	0.88	-	0.63	0.04	0.13	1.29	1.33	0.13	1.00	-	-	0.14	-	-	
		第45週	0.41	0.17	2.25	3.00	1.13	0.83	0.04	0.38	0.13	0.17	0.83	1.13	-	0.88	-	-	0.14	-	-	
		第46週	0.43	0.42	3.58	4.54	0.79	1.21	-	0.42	-	0.08	0.83	0.79	0.13	0.38	-	-	0.14	-	-	
		第47週	0.70	0.46	3.88	5.00	0.92	1.25	-	0.33	-	0.25	0.88	1.25	0.13	1.00	-	-	0.14	-	0.29	
		第48週	0.65	0.38	2.96	6.25	0.79	1.54	-	0.38	0.08	0.08	1.04	1.08	-	0.88	-	0.14	-	-	-	
	全国	第46週	0.37	0.50	2.17	5.78	1.01	0.71	0.25	0.55	0.01	0.11	0.31	1.37	0.01	0.50	0.01	0.04	0.33	0.01	0.01	
		第47週	0.94	0.53	2.49	7.42	1.10	0.81	0.29	0.55	0.01	0.09	0.28	1.65	0.01	0.55	0.01	0.02	0.38	0.01	0.02	

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱(39.1) 下痢 腹痛	3	男	2014/10/14	糞便	アデノウイルス5型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 上気道炎	6	男	2014/10/27	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス2型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

【予防のポイント】

◆ 手洗いの励行

最も基本的なことは、手洗いの励行です。(特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理や食事の前など) 手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆ 食品の十分な加熱

二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心部まで十分加熱(85~90℃で90秒間以上)しましょう。

* 塩素系消毒剤としては台所用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

詳しくは、広島市感染症情報センターHP「[感染症トピックス／ノロウイルスによる感染性胃腸炎](http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1265934252697/index.html)」をご覧ください。
<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1265934252697/index.html>

◆ 調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆ 便・吐物の適切な処理

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

★世界エイズデー「レッドリボンキャンペーンin広島」(12/6 アリスガーデン)を開催します!

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/0000000000000/1193275461263/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
 TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2014年第48週(11月24日~11月30日)